

EXCEL 設計書取り込みツール 2013

2013 年 01 月版

操作説明書（三重県編）

（第 2 版）



目 次

1 はじめに.....	3
2 操作説明.....	3
2.1 EXCEL 設計書取り込みツールの操作手順	4
2.2 三重県入札情報サービスシステム(公共調達)からの情報取得方法.....	9
2.3 『テクノス V2』での操作手順.....	12
2.4 『テクノス V2』での上書き参照機能の活用.....	13
3 補足 (動作環境).....	14

1 はじめに

本書は、発注者(三重県)から提供された EXCEL 形式の工事費内訳表(見積用)データを『テクノス V2』に対応したデータに変換するツール、『EXCEL 設計書取り込みツール 2013』の操作説明書です。

本ツールは Microsoft 社の EXCEL を利用しており EXCEL 2007 以降のバージョンが必要です。できる限り、最新バージョンのご利用を推奨します。また、ライセンス管理には『テクノス V2』と同一の USB プロテクタを利用していますので、『テクノス V2』が起動する環境(PC)が必須です。

本ツールの使用に際し、次の説明書でインストールしてください。

インストール	EXCEL 設計書取り込みツール 2013 2013 年 01 月版 インストール説明書
--------	--

ここでは、準備された EXCEL 形式のファイルを使用して『テクノス V2』に対応したデータを生成するための操作方法について説明します。

2 操作説明

この操作手順は

EXCEL 設計書取り込みツール 2013 三重県版 および 三重県(業務委託)版
に対応しています。

ここでは、EXCEL 設計書取り込みツール 2013 三重県版 を利用して手順をご説明します。

【準備】

- ・『テクノス V2』が正常に動作するようにプロテクタを準備してください。
- ・発注者から提供される EXCEL 形式の工事設計書ファイルを準備してください。

2.1 EXCEL 設計書取り込みツールの操作手順

(1) ツールの起動

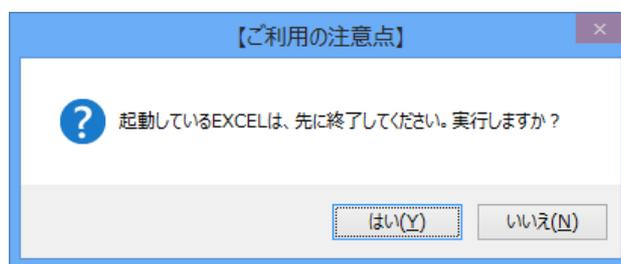
デスクトップのショートカットアイコンから本ツールを起動します。

デスクトップ等に作成されるアイコンの名称は「設計書取込2013」の文字で始まります。



(2) 起動前の確認 (他の EXCEL ファイルが起動していないことの確認)

【ご利用の注意点】の画面が表示されます。内容を確認してから「はい」ボタンをクリックします。

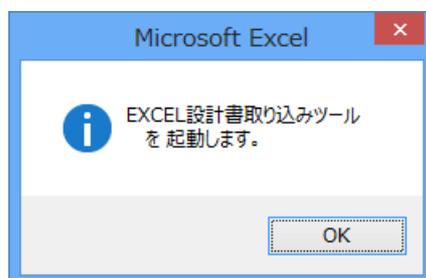


※ なお、本ツールの利用には EXCEL のマクロ実行を有効にすることが必要です。

(有効化の方法が不明な場合は、別紙「EXCEL マクロ有効化手順書」を参考にしてください。)

(3) ツールの起動

マクロが有効化されツールが起動されると「EXCEL 設計書取り込みツールを起動します。」と表示されます。 [OK] ボタンをクリックします。



(4) 略称、条件等の設定

MENU シート(画面)にて

以下の情報を入力後、[取り込み実行(ファイル指定など)] ボタンをクリックします。

(略称のみを設定すればとりあえず実行可能です。)

【工事情報】

工事情報	略称 (必須項目)
	工事番号
	工事名
	履行場所
	概要
	発注者名
	請負者名

略称は『テクノスV2』の工事管理画面の工事名に表示される情報です。

少ない文字数でわかり易い名前を付けてください。

また、本ツールには三重県入札情報サービス(工事)から指定した工事の情報 (上表の工事番号、工事名、履行場所、概要)を取得する機能が準備されています。その利用法については [2.2 三重県入札情報サービスシステム\(公共調達\)からの情報取得方法](#) にて説明します。

【条件設定】

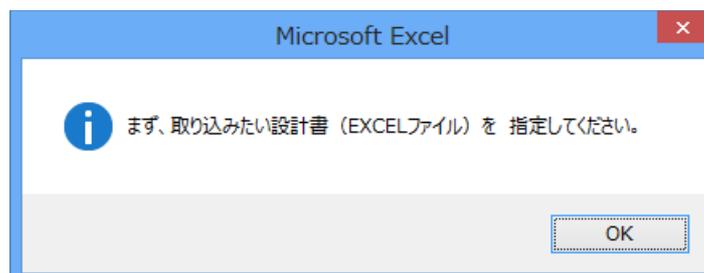
モード設定	通常（ 選択 ）
	上出来専用 上出来 BEST で取り込める形式
取り込むデータの レベル選択	<p>（任意） 変換したい（『テクノス V2』へ取り込みたい） データの階層を指定します。</p> <p>なお、「※共通仮設費積上げ分も」を指定 すると該当する積み上げ項目が存在する場 合、内訳表下部に専用の工種行が作成さ れ、その配下に共通仮設費の積上げ分が 計上されます。</p> <p>「諸経費条件設定」後、これらの単価表等を 活用できます。</p>

【単価表の強制参照化】

<input type="checkbox"/> 帳票番号が同一の 単価表の参照化 (名称規格は考慮 しない)	<p>初期状態（<input type="checkbox"/>:非選択）では、帳票番号と名称、 規格が同一であれば同一の単価表として判断し ます。</p> <p>本設定が有効になると、名称および規格の同一 性は無視して、帳票番号のみで判断します。</p> <p>参照化された単価表は『テクノス V2』上では同 一とみなされるため、一方の内容を変更するとそ の変更結果が参照化されている他の単価表に も自動的に反映されます。</p>
--	--

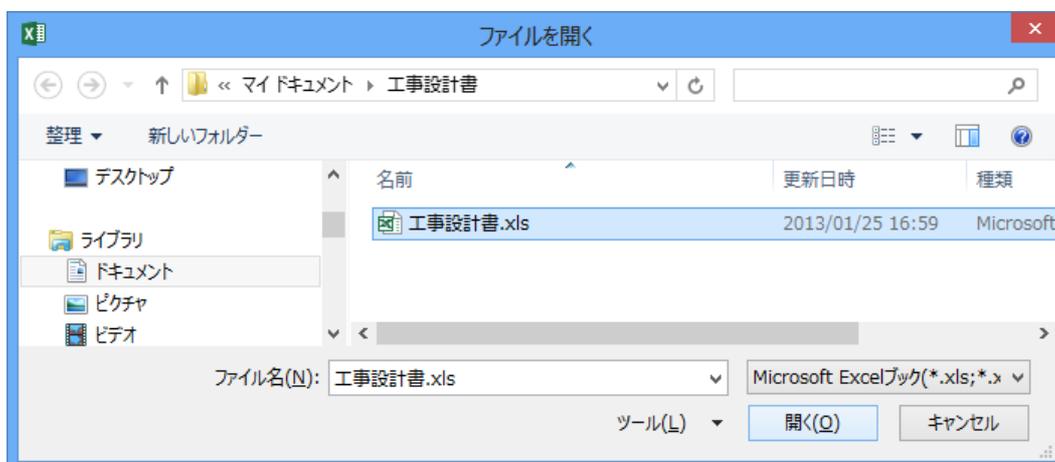
(5) EXCEL ファイルの選択1

取り込みが実行されると次の確認画面が表示されます。【OK】 ボタンをクリックします。



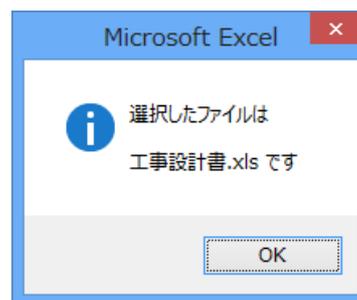
(6) EXCELファイルの選択2

ファイルを開く画面にて 対象の EXCEL ファイルを保存したフォルダから対象のファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



(7) EXCELファイルの選択3

表示された確認画面にて、[OK] ボタンをクリックします。

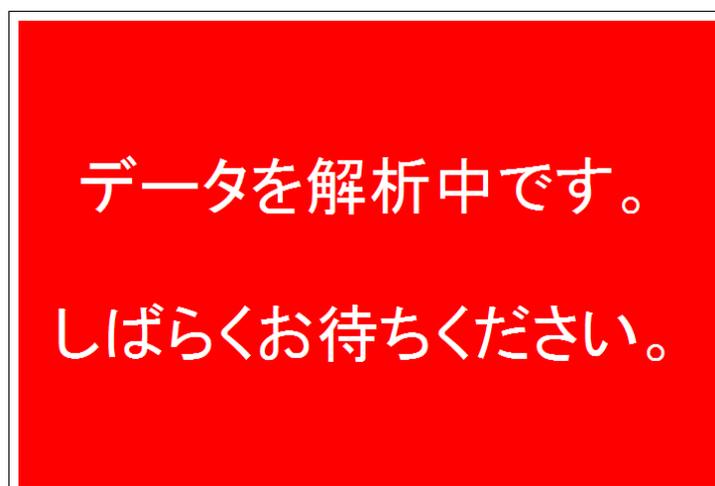


(8) 取り込み実行処理 (対象データのコピー)

取り込んだ EXCEL ファイルから必要な情報がコピーされます。
処理中は画面上のウィンドウが頻繁に切り替わることがあります。(しばらくお待ち下さい。)

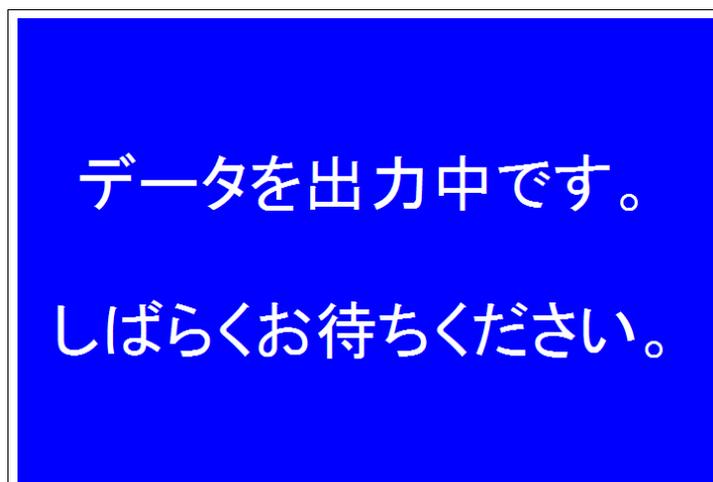
(9) 取り込み実行処理 (分析中)

コピーが終了すると、EXCEL 形式の工事設計書に記述されている階層情報等、積算を構成する要素、種類等が分析されます。



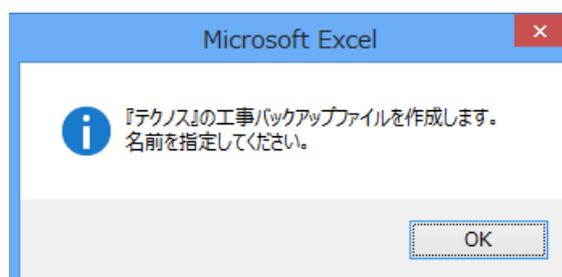
(10) 取り込み実行処理(出力中)

分析が終了すると、ファイルへ出力する情報が生成されます。



(11) 取り込み実行処理(出力の確認)

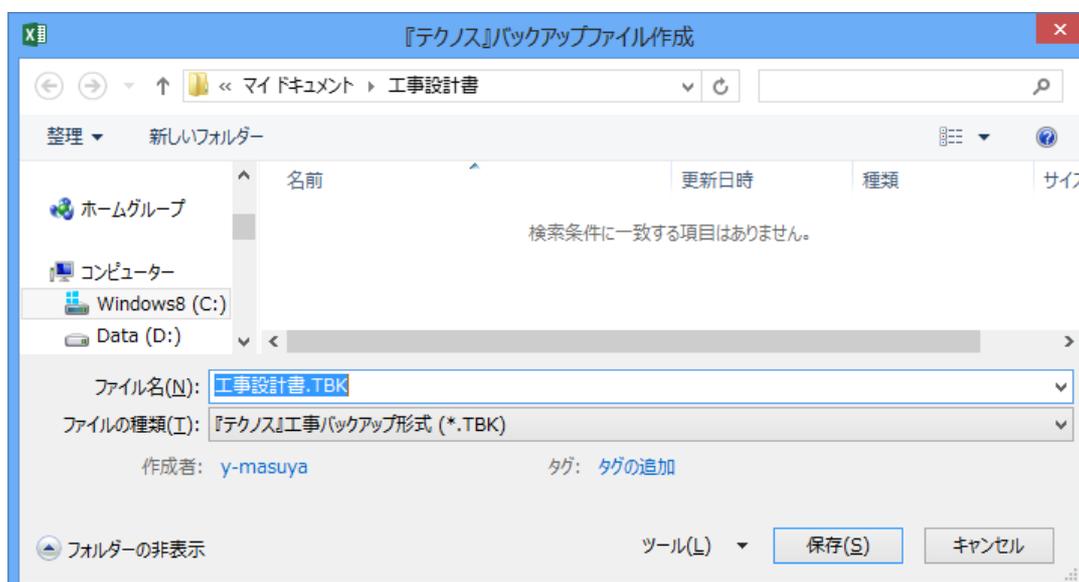
ファイル出力の準備が完了すると次の画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



(12) ファイル出力(ファイルの指定)

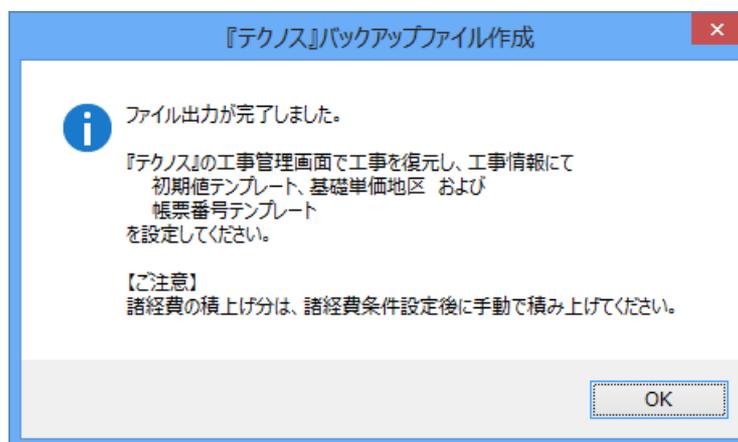
『テクノス』バックアップファイル作成」画面にて保存するフォルダを選択し、ファイル名を指定してから [保存] ボタンをクリックします。

(先に指定した **略称** がファイル名の初期値として自動的に設定されています。
このファイル名は自由に変更できます。)



(13) ファイル出力完了

ファイル出力が完了すると次の確認画面が表示されます。内容を確認した後、[OK] ボタンをクリックします。



(14) ツールの終了

ウィンドウ右上の [X] をクリックします。

以上で『テクノス V2』へ取り込むためのファイルが準備できました。続いて『テクノス V2』へ読み込みます。[\(2.3 『テクノス V2』での操作手順\)](#)

2.2 三重県入札情報サービスシステム(公共調達)からの情報取得方法

三重県入札情報サービスシステム(公共調達)にて公開されている工事情報を利用し、その工事の工事番号および工事名、履行場所、概要を取得(抽出)することができます。なお、本機能を使用すると略称が工事名で上書きされます。ただし、抽出後には略称を変更できます。

ここでは、「工事情報の抽出」手順を説明します。

(1) 三重県入札情報サービスシステム(公共調達)の表示

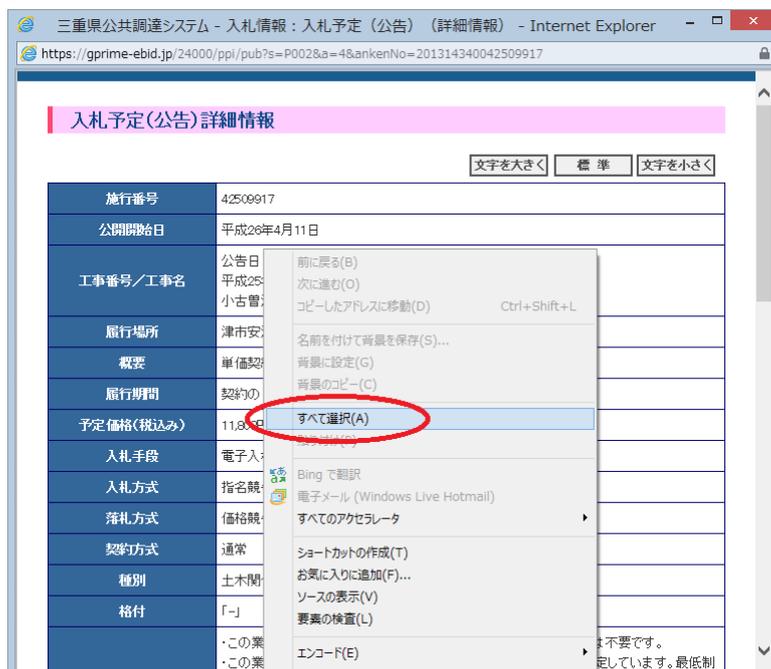
MENU シートの下部にある [三重県入札情報サービス(工事)] ボタンをクリックします。



自動的にブラウザ (Internet Explorer) が起動し、「三重県入札情報サービスシステム(公共調達)」のウィンドウが表示されます。

(2) 入札公告画面でのコピー

(1) にて表示された三重県入札情報サービスシステム(公共調達)から対象の工事を選択後、**入札予定(公告)詳細情報** の画面を表示し、マウスの右クリックメニューで「すべて選択」、



続いて同様に「コピー」を順次実行します。



(3) 入札公告情報の貼り付け

「入札情報サービス(工事)」ボタンの下部にある「ここに貼り付けます。」と書かれたセル(入力枠)をクリックし、右クリックメニューで「貼り付け」を実行します。



【注意 1】

「ここに貼り付けます。」と書かれたセル(入力枠)をクリックしても選択できない場合は、[貼付領域の保護解除] ボタンをクリックします。

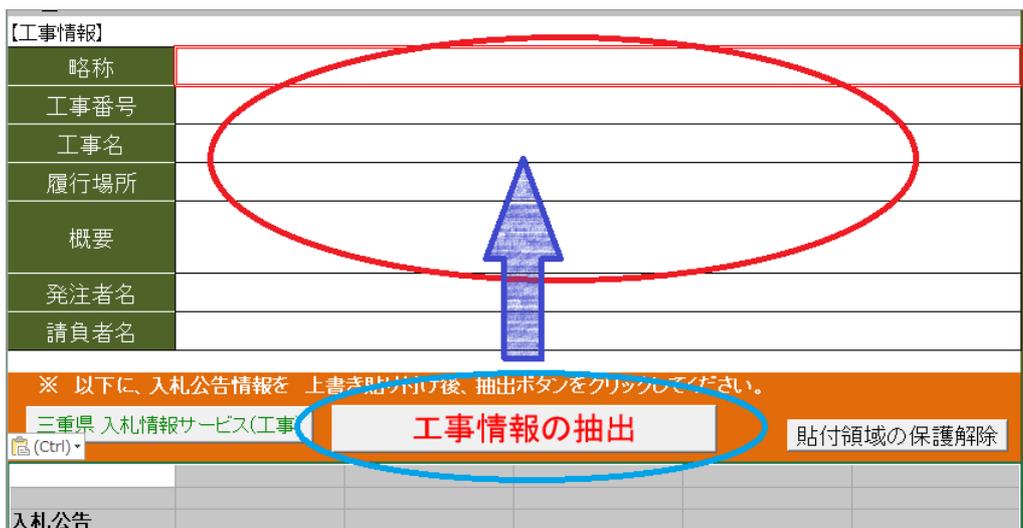
貼付領域の保護解除

【注意 2】

右クリックメニューの「貼り付け」における貼り付けオプションは選択できる場合は単純に「貼り付け」または「元の形式を保持」にて貼り付けます。

(4) 工事情報の抽出

[工事情報の抽出] ボタンをクリックします。



(3) にて貼り付けられた情報から工事番号および工事名、履行場所、概要が抽出されます。さらに略称には工事名が複写されます。

2.3 『テクノス V2』での操作手順

ここでは EXCEL 設計書取り込みツールにて変換されたファイルを『テクノス V2』へ読み込む手順を説明します。

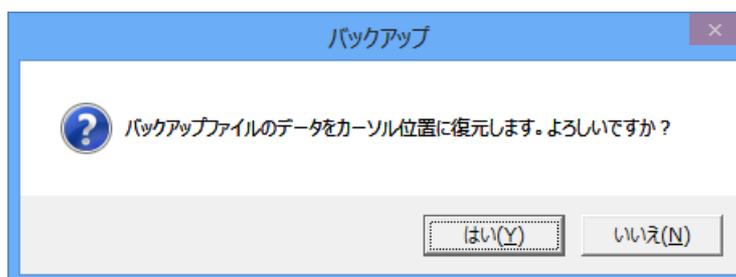
(1) 「設計書から」の実行

『テクノス』の工事管理画面にて工事名の空セルを選択し「設計書から」ボタンをクリックします。



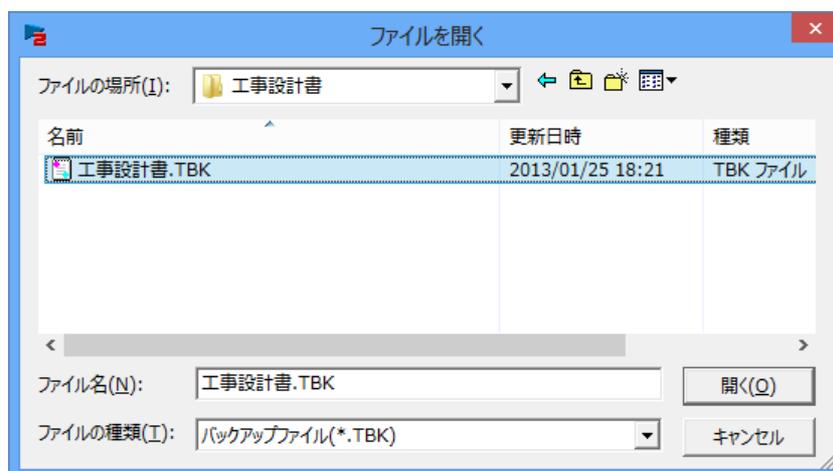
(2) 復元の確認

表示されたバックアップファイルの復元確認画面にて「はい」ボタンをクリックします。



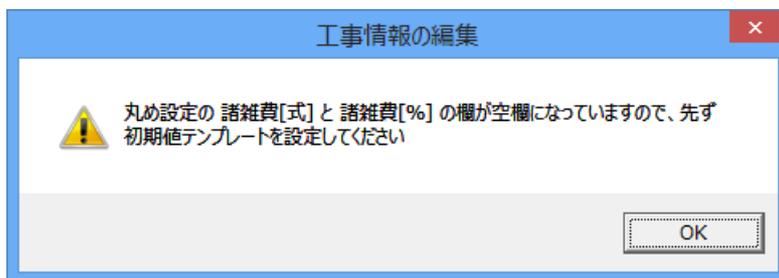
(3) 対象ファイルの指定

ファイルを開く画面では先ほど EXCEL 設計書取り込みツールにて保存したフォルダから対象ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



(4) 初期値テンプレート設定の確認

処理が完了すると、次のメッセージが表示されます。初期値テンプレートの設定に関する注意を促す画面「工事情報の編集」にて [OK] ボタンをクリックします。



「設計書から」にて復元された工事データは、新規に作成された工事と同様に初期値テンプレートの適用が必須です。

- ・初期値テンプレートの設定 (必須)
- ・基礎単価地区 (必須)
- ・帳票番号テンプレート (任意)
- ほか

以降の操作は通常の積算操作と同様です。

なお、積算の骨組はすでに構成され、単価表の名称、規格など表題情報は確定されています。これら名称等を活用し文字入力操作を削減する方法について次項で説明します。

2.4 『テクノス V2』での上書き参照機能の活用

EXCEL 設計書取り込みツールにて変換されたデータにおいては単価表の名称、規格など表題情報が確定されています。これらを活用することにより元の工事設計書と同一の用語が使用できるとともに文字入力の手間が削減できます。

新規に単価表を積み上げる場合は空白行を選択しますが、既存の行を活用するためには対象の行を選択した上で、[上書き参照(不変)] をクリックします。

No.		名称/規格	単位	数量	単価	金額	番号	f ^
13n		構造物とりにわし・運搬・処分					代価表 第17号	WB8118
		無筋構造物、機械施工、10m3未満、低騒音	m3	0.2	0	0		

この後の操作手順は新規に工事を作成した場合の [積算基準一覧] 機能での手順と同様で、結果として選択行の中身(下の階層のデータ)が上書きされます。ただし、表面に見えている選択行の名称、規格等(単価表の表題部分)の情報は不変のため元の値が維持されます。

3 補足（動作環境）

動作環境は次の通りです。

項目	条件
EXCEL	Microsoft EXCEL 2013、Microsoft EXCEL 2010、 Microsoft EXCEL 2007 (最新バージョン、最新のサービスパック適用を推奨)
OS	Windows8.1、Windows8、Windows7
インストール先	C:ドライブに特定のフォルダで固定
その他	『テクノス V2』が動作する環境(PC)が必須 (各ユーザーに対応したライセンスがユーザー単体に配付されるため、 PC 個別にライセンスを取得する必要はありません。)

以下、余白

EXCEL 設計書取り込みツール 2013
2013年01月版

操作説明書（三重県編）

著作者 — 株式会社テクノ
発行者 — 株式会社テクノ

改訂日 — 2014年04月11日 第2版
発行日 — 2013年02月06日 第1版